



平成 31 年 1 月 25 日

各 位

> 代表者の役職名 (東証第一部 E L

会 社 名 株式会社 幸楽苑ホールディングス 代表取締役社長 新井田 昇 コード番号 7 5 5 4) 問い合わせ先 取締役財務経理部長 久保田 祐一 $0\ 2\ 4\ -\ 9\ 4\ 3\ -\ 3\ 3\ 5\ 1$ https://hd.kourakuen.co.jp/

平成31年3月期 通期業績予想の上方修正に関するお知らせ

平成 31 年 10 月 26 日付の平成 31 年 3 月期第 2 四半期決算時に公表した平成 31 年 3 月期(平成 30 年 4 月1日~平成31年3月31日)の通期業績予想を下記のとおり上方修正いたしましたので、お知らせ申し 上げます。

記

1. 平成31年3月期通期業績予想の修正について (平成 30 年 4 月 1 日~平成 31 年 3 月 31 日)

(1)連結業績予想の	(単位:百万円)	(単位:円)				
		売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期 純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想	(A)	39, 343	1, 175	1, 115	739	49. 79
今回修正予想	(B)	40, 517	1, 565	1, 498	946	63.68
増 減 額 (B	—A)	1, 174	390	383	207	-
増 減 率		2.9%	33.1%	34.3%	28.0%	-
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	38, 576	△72	△114	△3, 225	△217. 64

(2)個別業績予	想の修正	(単位:百万円)	(単位:円)					
		売	上	追	経	常 利 益	当期純利益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想	(A)		13,	365		228	150	10. 16
今回修正予想	(B)		13, 6	345		251	277	18.64
増 減 額	(B-A)		4	280		23	127	_
増 減 率			2.	.0%		10.0%	84.6%	_
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)		13, 989			162	△585	△39. 53	

(2) 修正の理由

今年度当社は「味の改革」「マーケティング手法の抜本的転換」「保有資産の活用と店舗ポートフォリオの最適化」「筋肉質な経営」の4つの変革を掲げ、食の安全・安心の実現と「新幸楽苑」に向けた施策を推し進めてまいりました。これにより、お客様からの支持の回復による客数・売上の反転を実現し、また営業時間見直しや就労コントロールなどによる経費削減も着実に進んだことから、第3四半期までの業績は大きく好転しました。第4四半期の見通しは、上半期以降の施策を継続するとともに、品質(商品・サービス)改革強化を推進し、既存店客数の改善に努めることとし、通期の連結業績見通しにつきましては、既存店客数前期比100.0%を見込んでおります。但し季節的要因を踏まえ、営業収支は保守的に見積もることとし、固定資産評価の見直し等の可能性を考慮しました。第3四半期累計期間の業績とともに以上の第4四半期の見通しを踏まえ、前回予想の通期連結業績予想に対して、上記のとおり修正いたします。

(注) 業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上